

今月の

ご支援いただいているみなさん

(ご寄付) 義之 麻里さん、園 昌和さん、能村 聡さん (新入会) 今村 史朗さん

新会員インタビュー 今村 史朗さん (兵庫県在住)

今年3月に定年退職。仕事では長らく環境分野の測定・分析などを行ってきましたが、今一度新人のつもりで地域貢献活動をしたと思い、入会しました。今は環境教育のノウハウを学びつつ、環境教育リーダースタートアップ講座を受講中。将来的には、緑豊かでエネルギーを浪費しない、心地よく長く暮らせる「まちづくり」に取り組んでみたいですね。

環境市民の活動にご賛同いただき、ありがとうございます。環境市民は、みなさんひとりひとりのご支援により成り立っています。今後とも活動のご理解とご支援、よろしくお願いいたします。

映像教材のごあんない 「未来の選択」(日本語版/日本語・英語・中国語版)

温暖化防止がわかるDVD。社員研修に、環境の学習会に、語学学習にも便利!

地球温暖化防止を分かりやすく解説したDVD。貴重な映像、写真、研究成果、データを駆使し、世界各地で起こっている温暖化の影響、将来の影響予測、そして私たちが毎日の暮らし、行動から何ができるかを紹介しています。IPCC第4次評価報告書の情報も入った、地球温暖化の今を知る、誰でもわかりやすい解説、構成です。

日本語版 2,100円 / 日・英・中3カ国語版 3,150円 (消費税込、送料無料)



購入ご希望の方は、環境市民ホームページの申込フォーム、もしくは京都事務局までご連絡ください。

最新情報を発信中! 環境市民のTwitter&facebook
● Twitter アカウント: @kankyohsimin
● facebook http://www.facebook.com/kankyohsimin

身近な話題から旬の話題まで環境の視点から情報発信ラジオ番組「環境市民のエコまちライフ」
● 毎週月曜午後1:00から1:15 (再放送は火曜朝7:00から)
● 京都三条ラジオカフェ (79.7MHz) URL: http://radiocafe.jp

環境市民に入会しよう!

環境市民は、多くのボランティアと会員の皆さんの参加によって支えられています。「持続可能で豊かな社会づくり」のために、ぜひ会員になって環境市民の活動を応援してください!

- 会員特典: 月刊会報誌「みどりのニュースレター」をお届けいたします。行事などの参加費を割引させていただきます。環境に関する様々な情報を得たり、また質問や相談ができます。入会時には記念ポストカードを差し上げます。
- 入会申し込み: 郵便振替振込用紙に、住所・氏名・電話番号・会員の種類・送金内容事項をご記入の上、ご入金ください。
法人会員の他、個人会員(年会費4,000円、入会金1,000円)、シニア・学生会員(年会費3,000円)などの種類があります。詳しくは京都事務局まで。

会費・寄付のお振込み先
【郵便振替】
口座番号: 01020-7-76578
加入者名: 環境市民

● ご寄付: 住所・氏名・電話番号・寄付金額をご明記の上、ご入金ください。



TEL: 075-211-3521 http://www.kankyoshimin.org
IP: 050-3581-7492 FAX: 075-211-3531 E-mail: life@kankyoshimin.org
〒604-0934 京都市中京区麩屋町通二条下る第二ふや町ビル 405
(月から金午前 10:00 から午後 6:00)

〈環境市民 東海事務所〉
TEL&FAX: 052-977-7697 (IP: 050-3069-1665)
E-mail: tokai@kankyoshimin.org
URL: http://www.kankyoshimin.org/tokai/
〒462-0818 名古屋市北区彩虹橋通 1-1-5-805

〈環境市民 滋賀事務所〉
TEL: 077-522-5837
E-mail: cefshiga@kankyoshimin.org
〒520-0046 大津市長等 2丁目 9-12
竺 文彦 氏



NPO 法人環境市民の月刊会報誌

みどりのニュースレター

2013年6月号 no.241

今月号は4月のイベント報告特集です
今月の「みどりのニュースレター」は、4月に開催されたイベントについて報告します。イベント内容はさまざまですが、環境市民が幅広い分野で活躍していることを確認できると思います。紙面追体験でお楽しみください。

報告: 個別相談タイムが白熱 春のボランティア説明会開催

4月27日(土)に環境市民京都事務所にて、「春のボランティア説明会」を開催しました。環境市民の活動理念や実施している活動プロジェクトなどについて紹介の後、興味のある分野や活動プロジェクトについて個別相談を行いました。参加者6人、ボランティアや事務局スタッフ7人が集まり、お茶とお菓子を囲みながら行なわれました。初め



のうち、参加者のみならず事務局スタッフも緊張をしていたため、雰囲気は少し固かったのですが、時

が過ぎるにつれて緊張もほぐれ、話が盛り上がっていききました。

個別相談では、現在実施している13のプロジェクトの説明を簡単に行い、次に、プロジェクトを担当しているスタッフやボランティアのところに分かれて自由に質問をうける時間を設けました。参加者の参加の動機や興味のある分野などはそれぞれ異なっていたのですが、「機会があれば、何かをやりたい」という気持ちは同じで、ボランティアの内容や参加の仕方などについて積極的に質問を受けました。また、参加者から、自分が感じていることや考えていること、仕事や活動などで今

まで経験をしてきたことといった話も伺いました。そのような中で、参加者の希望やライフスタイルにあわせて、取り組みそうなボランティア活動や関連しそうなプロジェクトについての紹介や意見の交換を行いました。各所で、井戸端会議(議論?)が展開され、お茶がすすむ白熱を帯びた個別相談が繰り広げられました。

基本的には、プロジェクトを担当する事務局スタッフやボランティアが取り組みの状況を紹介する形をとっていたのですが、参加者の方より、「新しく企画を立ち上げる事はできないか?」という積極的な質問や意見もありました。

今回、参加者の方とざっくばらんに話し合いながら、環境市民でのボランティア活動についての説明を行うことができました。今後も、ボランティアを希望する方の想いや声を大切にしながら、より分かりやすく、参加しやすい説明会になるように工夫を重ねていきます。今後とも、ご協力・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

(文/インターン 箱森 昌太)



報告： アンニャと子どもたちの世界と私を変える旅 トーク&ライブ

愛・地球博で市民プロジェクト「地球を愛する100人」にノミネートされた環境活動家でシンガーソングライターのアンニャ・ライトさんが来日されたのを機に、5月9日(木)、京町家さいりん館(京都市内)にてトーク&ライブを行いました(共催：ナマケモノ倶楽部)。



アンニャさんは、1997年の温暖化防止京都会議、COP3の頃にも京都に来られ、温暖化防止をPRするために環境市民メンバーとも一緒に歌っていたのでご存知の方がおられるかもしれません。今回はボルネオやエクアドルでの熱帯雨林保護活動の話、現在お住まいのオーストラリアに自力で建てた家のお話などをうかがいました。

今回は、お二人のお子さん、パチャちゃんとヤニちゃんも一緒でした。お子さんはエクアドルで自然分娩されたそうです。エクアドルだったら自然分娩が多いのでは、と思うかもしれませんが実は多くの人が病院で出産。自然分娩をする、と決めたときには周囲は大パニックだったと笑います。「私たちは何でも自分でできないと思いがちだけど本当は自分

でいろんなことができる」と力を込めるアンニャさん。その想いをまさに形にしたのがオーストラリアに自力で建てたお家です。

地球一つ分の暮らしを実現しよう、と大工仕事が得意な人たちの助けを借りながら少しずつ内装を変えていきました。学校から帰ると家の何かが完成しているの、子どもたちは「お母さんすごい」と大喜び。「子どもたちは、私が家をつくる様子を見ていたので自分の力で家はつくれると学んでいってくれるはず」と実感を込めて語っていました。

オーストラリアといえば、広大な土地に家、そして芝生。土日になるとウィーンと音をたてながら一日中芝刈りをしている人も多いそう。「一生懸命仕事をして土日はずっと芝刈りなんてもったいない！」とアンニャさんが考えたのは馬を飼うことでした。草を食べてくれる馬はまさに芝刈り機。「糞は庭のコンポストになり、子どもたちや地域の人たちの気持ちをなごませてくれる癒しの存在でもあるのよ」。馬を飼うことに決めたのは、ヤニちゃんが「任天堂DSを買って」とせがんだこともきっかけだったとか。「それなら馬を飼いましょう」アンニャさんの発想の面白さに参加者の笑いがあふれていました。

トークの合間には、ギターを弾きながらメッセージ性あふれる曲を披露してくれました。環境を守っていききたいという熱い想いと行動力、そしてどこまでも明るく楽しい、包み込むようなやさしさにあふれるアンニャさんの人柄に引き込まれた夜でした。

(文/ニュースレター編集部 有川 真理子)

報告： ありのままの福島の話をお聴こう

東日本大震災から2年が経ち、福島に住む人たちと関西に住む私たちとでは、福島原発事故後の対応や考え方に温度差が生じているのではないかと、福島の人たちがどのような思いで過ごしているのかを知

ることが大切なのは、との思いから、4月20日(土)、ハートピア京都(京都市内)で「ありのままの福島の話をお聴こう」を開催しました。来てくださったのは福島市の高校で教鞭をとられる赤城修司さん。

地震直後から撮影し続ける写真を通して紹介される日々の暮らし。地震直後、散乱するモノを元に戻そうとする人、「そんなことをやっている場合じゃない、逃げよう」と主張する赤城さん。この相反するベクトルがその後も、職場で、家庭で、まちで、ずっと続くことになります。放射能の影響がわからないうちは学校行事を中止するべきだと主張する赤城さん。日常を保つことが大事と、合格発表、入学式を予定通り行う学校側。高い放射線量にさらされているなか、全国紙の新聞には「元気に体育館でサッカーをする小学生」と写真の説明が。除染作業の現

場には「表土改善をしています」の立て看板と、そのすぐ脇を通りすぎる小学生の姿。スーパーなどまちの至るところに「がんばろう福島」「がんばろう〇〇」のキャッチフレーズ。

胸がつまりそうな現状。現状を少しでも打破するために私たちに何ができるのか、何をすべきなのかを考え、行動しなくてはいけないと強く思いました。

(文/ニュースレター編集部 有川 真理子)

セミナー&イベント情報



第12回 NPO 法人環境市民 通常社員総会

6/15(土) 午後1:30から3:00

●ところ：コープイン京都 202号室
(京都市中京区柳馬場蛸薬師上ル井筒屋町411)

昨年度の活動を振り返り、また新たな年度の活動を議論します。どなたでもご参加いただけます。

【議案(予定)】2012年度事業報告案、決算報告案、定款変更案、2013年度事業計画および収支予算の報告など。



買い物を考える 社会が変わる グリーンコンシューマー 新たなステージへ

通常社員総会同時開催セミナー(入場無料)

6/15(土) 午後3:15から4:45

気候変動、生物多様性などあらゆる環境問題、エネルギー問題が待ったなしの状況にある現在、グリーンコンシューマー活動をどう展開していくべきなのか、環境市民の活動紹介もまじえながら、パネルディスカッション形式のセミナーを開催します。

●ところ：コープイン京都 202号室
(京都市中京区柳馬場蛸薬師上ル井筒屋町411)

●定員：70人 ●参加費：無料



【パネリスト(左より)】中原秀樹氏(グリーン購入ネットワーク名誉会長)、花田真理子(本会理事・大阪グリーン購入ネットワーク副理事長)、枚本育生(本会代表理事)



誰でも参加できる1Dayボランティアデー

6/27(木) 午後2:00から6:00頃まで

●ところ：環境市民京都事務局

毎月、おしゃべりしながら会報読みどりのニュースレター発送作業をしています。どなたでも参加できます♪



問合せ申込み NPO 法人環境市民事務局まで <住所、氏名、電話番号、E-mailを明記の上お申し込み下さい>
TEL: 075-211-3521 FAX: 075-211-3531 E-mail: life@kankyoshimin.org



サスコミュづくり会議 コミュニティパワーでサステナブルなまちづくり

6/23(日) 午後12:30から5:30

●ところ：ゲバントホール
(広島市中区本川町2-1-13 和光パレス21 5F)
●参加費：1,000円(会議のみの参加の場合)
●定員：100人 ●主催：広島連塾Sus☆テラス
●申込先：TEL/FAX 082-231-6965

「MEEC(広島)」や「エネカフェひろしま」を開催してきた広島連塾 Sus☆テラスによる、「サスコミュづくり会議」が開催されます。広島でのコミュニティパワー(地域再エネ)の実現に向けて、全国の先進事例を学び、その課題やポイントを共有するとともに、みなさんと議論します。【参加ゲストアドバイザー】枚本育生(環境市民代表理事)ほか